

## 高齢分野(対象者別科目)

# 高齢期におけるエンドオブライフ・ケア

### 研修のご案内

日 時：第1回 2019年 1月 19日(土) 9:30~16:40(受付 9:10)  
第2回 2019年 1月 20日(日) 9:30~16:50(受付 9:10)

場 所：クローバープラザ 501研修室(〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7)

内 容：高齢期におけるエンドオブライフ・ケア 研修プログラム(別紙参照)

※ 講義を中心に演習等を含めた1日6時間の研修となります。

(全日程の参加および第2回終了後のレポート評価での合格を以て修了となります。)

講 師：齋藤 如由 氏(医療法人社団五雲堂 齋藤醫院 院長 医師)

内田 浩稔 氏(医療法人みらい今立内科クリニック 社会福祉士 医療ソーシャルワーカー)

高鍋 竜一 氏(医療法人八女発心会 介護老人保健施設舞風台 社会福祉士 支援相談員)

高田 裕矢 氏(株式会社いちょうの杜グループ 社会福祉士 ケアマネジャー)

金武 嘉代 氏(株式会社いちょうの杜グループ 社会福祉士 看護師)

定 員：30名(但し、定員になり次第締め切ります。)

参加費：会員(福岡県内) 10,000円 会員(県外) 15,000円 非会員 20,000円

参加資格：社会福祉士有資格者且つ高齢者分野において就業もしくは活動している者またはそれを目指している者(学生を除く)

申込方法：「研修参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXもしくはホームページの「研修会の参加申込受付」でお申込みください。申し込み締め切り後、正式な案内を郵送いたします。その後、指定口座にご入金いただき、確認でき次第受講確定となります。

申込締切：2018年 12月 20日(木) 必着

認定社会福祉士制度：高齢分野 1単位 生涯研修制度：独自の研修12時間

(認定社会福祉士認証・認定機構において認証済 認証番号：20180006)

※ 主任ケアマネ更新研修の「研修修了状況申告書」の証明を希望される方は、切手を貼った返信用封筒をご用意ください。後日事務局から返送致します。

#### 【お問合せ先・申込先】

公益社団法人福岡県社会福祉士会 事務局 芳川・有菌

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-9-12 アイビーコートⅢビル5F

TEL 092-483-2944 FAX 092-483-3037 E-mail info@facsw.or.jp

## 2018年度 高齢期におけるエンドオブライフ・ケア 研修プログラム

<p><b>【 研修目標 】</b></p>	<p>本研修によってエンドオブライフ・ケア（以下：EOLC）が人生の終焉を迎える時期に、もしくはいずれは来る死について考える人に対して行われるケアであり、疾患の種類にかかわらず、また単なる疼痛コントロールに留まらず、生を終えるその瞬間まで生き抜くためのケアの概念であることを理解する。具体的には、どういう治療法を望むのかであったり、死生観を考えることであったり、家族との時間をどう過ごすかであったり、いわばその人の生活を考える手助けをすることでもある。これらの支援を学び、臨床現場において実践できるようになることを目的とする。</p>	
<p><b>【 全体像 】</b></p>	<p><b>【1】 EOLC をめぐる社会的背景と社会福祉士の立ち位置</b> EOLC について、多死社会、社会保障、医療・介護保険制度、地域包括ケアなどの社会的背景を理解する。社会的背景を理解した上で、EOLC をケア、当事者、主体性、反パターンリズムなどの概念を通して理解を深める。</p> <p><b>【2】 高齢期のEOLC①</b> Lynn Jが提示する「死にいたるまでの経過」の3類型（がん、慢性疾患、老衰・認知症）を学び、症例を元に理解を深める。そして、EOLC を支えるアプローチについて理解を深め、それぞれの人生の終末期ケアにおける医療・看護・介護・福祉の役割について理解する。</p> <p><b>【3】 高齢期のEOLC②</b> 「EOLC をめぐる社会的背景と社会福祉士の立ち位置」「高齢期のEOLC」で学習した内容を末期癌症例、認知症末期症例、慢性心不全末期症例、加齢に伴う自然死症例などの事例を通して理解を深め、明日の実践へ生かす。</p>	
<p><b>【 研修内容 】</b> ( 1日目 )</p>	<p>9:30～11:00 【 高鍋 竜一 】</p>	<p><b>【1】 EOLC をめぐる社会的背景と社会福祉士の立ち位置</b> (1)これからの日本（多死社会）について (2)EOLC における社会福祉士の立ち位置</p>
	<p>11:10～12:40 【 高田 裕矢 】</p>	<p><b>【1】 EOLC をめぐる社会的背景と社会福祉士の立ち位置</b> (3)医療・介護保険制度を活用し、当事者のEOLC を支援する。</p>
	<p>13:30～15:00 15:10～16:40 【 齋藤 如由 】</p>	<p><b>【2】 高齢期のEOLC①</b> (1)死に至る三つのパターン (2)緩和ケア・ホスピスケア・グリーフケア</p>
<p><b>【 研修内容 】</b> ( 2日目 )</p>	<p>9:30～11:00 【 金武 嘉代 】</p>	<p><b>【3】 高齢期のEOLC②</b> (1)事例を検討する上で必要な視点について</p>
	<p>11:10～12:40 【 内田 浩稔 】</p>	<p><b>【3】 高齢期のEOLC②</b> (2)アドバンスケアプランニング（ACP）と臨床倫理</p>
	<p>13:30～14:30 14:40～15:40 【 内田 浩稔 】</p>	<p><b>【3】 高齢期のEOLC②</b> (3) 事例を用いて倫理コンサルテーション</p>
	<p>15:50～16:50 【 内田 浩稔 】</p>	<p><b>【3】 高齢期のEOLC②</b> (4)発表と全体の総括</p>